

令和5年10月6日

所 属	文化振興課
所属長	荏田 昭憲
電 話	06-6489-6385

**令和5年度「尼崎市民芸術賞」桂 八十八さんに決定
表彰式を実施します**

尼崎市は、令和5年度「尼崎市民芸術賞」の受賞者を次のとおり決定し、表彰式を実施いたします。つきましては、是非ご取材いただきますよう、お願い申し上げます。

1 受賞者

桂 八十八（かつら やそはち）氏

活動分野：芸能（落語）

※功績、略歴は別紙のとおり

2 表彰式について

日時：令和5年10月16日（月）午前9時45分～10時15分

場所：尼崎市役所 北館2階 特別会議室

出席者：被表彰者、市長、副市長、議長、総合政策局長など

3 受賞者の決定方法について

公募により募った候補者の中から、選考委員による選考会で受賞候補者を選定いただき、その後、本市において受賞者を決定しました。

4 尼崎市民芸術賞について

この表彰は、芸術性の高い優秀な作品等を創作し、全国規模の活動を展開している方へ贈られます。市民の芸術文化創造への意欲を喚起し、本市の芸術文化の振興を図ることを目的としています。

以 上

ご功績

尼崎市民芸術賞

かつら や そ はち

桂 八十八

住所：尼崎市

尼崎市出身・在住の落語家です。人間国宝・桂米朝の最後の内弟子です。

令和3年8月、二代目八十八を襲名。持ちネタの多さは上方落語界屈指で、米朝から引き継いだ落語に、さらに自分らしい明るさと工夫を加えた芸風により、上方落語の手本と言われています。また、市民にとって身近な場所での公演を通し、積極的に落語の面白さを届けています。

上方落語界において重要な位置をしめ、さらなる活躍が期待される、本市の芸術文化の振興に多大なる貢献をなされております。

ご 略 歴

1 受賞者名 桂 八十八 (かつら やそはち)

2 活動分野 芸能 (落語)

3 住 所 尼崎市

4 活 動 歴

昭和63年10月	桂米朝に入門、芸名桂宗助。
昭和64年2月	京都の安井金毘羅会館「桂米朝落語研究会」で初舞台。
平成7年3月～	大阪梅田の太融寺にて勉強会「宗助はんの会」を開催。
平成8年6月～	尼崎市の立花駅前で自身の勉強会を開催。
平成8年9月～	大阪・上新庄での「上新庄えきまえ寄席」にメンバーとして参加。 自身の勉強会、同期らとの会を各地で開催。
平成9年	NHK新人演芸コンクール新人演芸大賞受賞。
平成13年12月	大阪松竹座の新生松竹新喜劇師走公演に出演。以降、曾我廼家喜劇の復活上演を試みる「山椒の会」に参加。
平成14年9月	大阪・国立文楽劇場小ホールで初の独演会を開催。その後はテイジンホール、朝日生命ホールなど会場をかえつつ、毎年1回開催。
平成28年2月	大阪松竹座で師匠・桂米朝追善の芝居「地獄八景亡者戯」に出演。
平成29年6月	大阪松竹座で芝居「銀二貫」に出演。
令和3年8月	師匠・米朝の俳号「桂八十八」を襲名。 大阪・サンケイホールブリーゼを皮切りに東京・紀伊國屋ホール、岡山コンベンションセンター、和歌山県民文化ホール、京都府立文化芸術会館、天満天神繁昌亭、神戸新開地・喜楽館で襲名披露公演を開催。 その後令和4年3月まで襲名記念公演を各地で開催。